

# 黒部峡谷 トロッコ電車のご紹介(機関車・客車編)

No.1 V-shaped Gorge in Japan  
黒部峡谷トロッコ電車

**機関車** 車両形式: **EDR形**  
(E電気, D4輪, Rリニューアル)



黒部峡谷を走る主力の電気機関車で、通常は2両を連結し、重連で運行します。類似形のEHR形と合わせて14両が活躍しています。EHR形は、昭和50年度のローレル賞を受賞しています。

(車両寸法) 6900×1662×2730 mm  
(重量) 18.0 t  
(定格出力) 42.0 kW×4  
(定格速度) 24.8 km/h

**機関車** 車両形式: **EDM形**  
(E電気, D4輪, Mモジュール)



ED形からの更新形で、ギヤ比、抵抗値等が改良されています。現在は、さらに更新タイプのEDR形への改造を行っており、在籍車両は5両のみとなりました。制御方式は、間接制御方式で通常は2両を重連にして運転しています。

(車両寸法) 6900×1662×2730 mm  
(重量) 15.0 t  
(定格出力) 35.0 kW×4  
(定格速度) 24.8 km/h

**機関車** 車両形式: **ED形**  
(E電気, D4輪)



昭和10年当時から現在も活躍中の電気機関車です。主に樺平で入換用として運行していましたが、平成27年から黒部峡谷パノラマ展望ツアーで活躍しています。直接制御方式で、運転士は横向きになって運転します。現在2両が活躍しています。

(車両寸法) 6040×1662×2704 mm  
(重量) 15.19 t  
(定格出力) 30.56 kW×4  
(定格速度) 16.0 km/h

**機関車** 車両形式: **EDS形**  
(E電気, D4輪, S-sum)



昭和32年に製作された凸形の電気機関車で、凸EDタイプと比べ出力がアップしていましたが、平成27年から黒部峡谷旧タイプと同じく、運転士は横向きで運転します。現在1両が活躍していて、本線を定期的に走る唯一の凸形車両です。

(車両寸法) 6900×1646×2728 mm  
(重量) 15.19 t  
(定格出力) 35.0 kW×4  
(定格速度) 16.0 km/h

**機関車** 車両形式: **EDV形**  
(E電気, D4輪, VVVVF)



平成24年デビューの電気機関車。直流600Vの電機電源をインバーターで交流に変換し、交流モーターを駆動させています。下り坂での電気ブレーキで再生電力を発生させ、他の機関車に有効利用できるなど、省エネ対策に優れた機関車です。(主電動機種類)3相かご形誘導電動機

(車両寸法) 6900×1625×2730 mm  
(重量) 17.6 t  
(定格出力) 42.0 kW×4  
(最高速度) 25.0 km/h

**機関車** 車両形式: **DD形**  
(Dディーゼル, D4輪)



冬期運転休止期間前後の電車線復旧撤去作業時やシーズン期間の電車線の停電時、黒雑線への貨物輸送等で活躍しています。近年、HST油圧制御方式を採用した新型を導入し、2両が活躍しています。

(車両寸法) 7780×1650×2436 mm  
(重量) 15.5 t  
(定格出力) 240 PS  
(定格速度) 16.0 km/h

**特殊車** 車両形式: **保線車**



主に毎日の始発前パトロールや夜間の沿線点検作業で活躍しています。通常ダイヤで運行しないため、お客様にとっては珍しい車両です。制御方式はHST式でNo.2・No.3の2両が活躍しています。

(車両寸法) 4666×1650×2430 mm  
(重量) 5.6 t  
(定格出力) 39 kw / 2000 rpm  
(最高速度) 25.0 km/h

**旅客車** 車両形式: **2000形**



密閉形客車(ボギー車両)で、導入時には開放形の車両しかなかったために特別車と名付けられました。現在2編成12両が活躍しています。

特別客車  
(車両寸法) 7400×1675×2420 mm  
(空車質量) 4.4 t (端部車 4.7 t)  
(座席定員) 中間車:27名 端部車:24名

**旅客車** 車両形式: **3100形**



乗降口を拡大し、車いすのまま乗車できるようバリアフリー化を積極的に取り入れた車両です。車体は新緑の緑と紅葉の赤をイメージしたデザインとなっています。現在4編成22両が活躍しています。

リラックス客車  
(車両寸法) 7400×1675×2420 mm  
(空車質量) 4.9 t (端部車 5.1 t)  
(座席定員) 中間車:21名 端部車:15名 端部車車いす:11名

**旅客車** 車両形式: **2500形**



密閉形客車(ボギー車両)で、お客様がゆったり座れるよう座席が改良されています。現在2500形、2550、2800形を合わせ、4編成23両が活躍しています。

リラックス客車  
(車両寸法) 7400×1675×2420 mm  
(空車質量) 4.9 t (端部車 5.1 t)  
(座席定員) 中間車:21名 端部車:18名

**旅客車** 車両形式: **1000形**



ポスターやCMでおなじみの開放形客車(ボギー車両)で、黒部峡谷を存分に満喫できる車両です。近年、耐久性を考慮し、車体をステンレスに改良しました。現在8編成56両が活躍しています。

普通客車  
(車両寸法) 7060×1660×2250 mm  
(空車質量) 4.1 t  
(座席定員) 27名

**旅客車** 車両形式: **八形**



大正12年製造の2軸客車で、現在も当時のままのスタイルで活躍しています。民営鉄道・旅客のなかでは、現役最長・全長最少・最軽量・最少定員の4部門で日本一の車両です。金鋼製車体の更新形を含め、21両が活躍しています。

(車両寸法) 4226×1660×2180 mm  
(空車質量) 2.3 t  
(座席定員) 18名

# 黒部峡谷 トロッコ電車のご紹介(貨物車両・特殊車両編)

No.1 V-shaped Gorge in Japan  
黒部峡谷トロッコ電車

**貨物車** 車両形式: **ト形**  
ト=トラック



主に砂利やセメントを運搬する車両です。本線以外で関西電力専用線へ乗り入れるため、全長が短い構造となっています。現在73両が在籍し、貨車の中では最も多い車両です。

(車両寸法) 3598×1646×1270 mm  
(空車質量) 1.8 t  
(積載重量) 3.00 t  
(製造年月) 昭和31.12~

**貨物車** 車両形式: **オト形**  
オト=大型のトラック



主な使用目的はト形と同様ですが、最大長が4672mmと大きく、ト形より運搬能力の高い車両です。現在33両が活躍しています。

(車両寸法) 4672×1580×1270 mm  
(空車質量) 1.8 t  
(積載重量) 3.60 t  
(製造年月) 昭和33.8~

**貨物車** 車両形式: **チ形**  
チ=英語の木材を積むチン/チー、もしくは鉄道のチ



主に長尺物(レール等)を運搬する車両です。ト形同様、関西電力専用線に乗り入れるため、全長が短い構造となっています。現在22両が活躍しています。

(車両寸法) 3598×1660×1835 mm  
(空車質量) 1.7 t  
(積載重量) 3.60 t  
(製造年月) 昭和33.8~

**貨物車** 車両形式: **オチ形**  
オチ=大型のチ車



主な使用目的はチ型と同様ですが、運行箇所は本線専用です。現在15両が活躍しています。

(車両寸法) 4537×1498×1574 mm  
(空車質量) 1.8 t  
(積載重量) 3.60 t  
(製造年月) 大正15.10~

**貨物車** 車両形式: **ナチ形**  
ナチ=長尺物を運ぶチ車



チ形の大型車両です。単独では重機運搬、2両編成で長尺物を運搬したりします。現在4両が活躍しています。

(車両寸法) 6000×1674×1836 mm  
(空車質量) 3.3 t  
(積載重量) 7.00 t  
(製造年月) 昭和9.5~

**貨物車** 車両形式: **ムチ形**



かつては大型重機を運搬していましたが、近年はあまり活躍していません。現在2両が在籍しています。

(車両寸法) 8120×1674×1485 mm  
(空車質量) 6.6 t  
(積載重量) 15.00 t  
(製造年月) 昭和9.5~

**貨物車** 車両形式: **シ形**  
シ=重機物の運搬車



拡大物の中でも比較的軽量物の運搬に使用しています。現在1両が活躍しています。

(車両寸法) 6361×1606×1269 mm  
(空車質量) 3.7 t  
(積載重量) 5.00 t  
(製造年月) 昭和33.4~

**貨物車** 車両形式: **オシ形**  
オシ=大型重機物の運搬車



当社では積載量最大(20t)の貨車です。製造年は大正15年と貨車の中では最も古い車両です。現在2両が活躍しています。

(車両寸法) 9601×1670×1600 mm  
(空車質量) 11.4 t  
(積載重量) 18.6 t  
(製造年月) 大正15.5~

**貨物車** 車両形式: **ワ形**  
ワ=ワゴン車



当社唯一の有蓋貨車で、当初は火薬運搬車として活躍していましたが、現在は主に食料運搬等に使用しています。現在3両が活躍しています。

(車両寸法) 3598×1670×1995 mm  
(空車質量) 2.1 t  
(積載重量) 3.00 t  
(製造年月) 昭和33.4~

**貨物車** 車両形式: **峡谷美人**  
ゴミ運搬車



営業期間中の沿線で発生するごみを宇奈月まで運ぶための運搬車です。まさに峡谷全体をごみのないきれいな美人にするためオト形を改造して使用しています。現在4両が活躍しています。

(車両寸法) 5585×1860×2480 mm  
(重量) 11.0 t  
(定格出力) 168 kw / 2000 rpm  
(最高速度) 25.0 km/h

**除雪車** 車両形式: **SP-2**



春の運転再開準備に活躍する除雪用作業車です。シーズン中は定期点検以外に稼働する事はないため、なかなか見る事の出来ない車両です。平成28年に導入し、現在1両が在籍しています。

(車両寸法) 5585×1860×2480 mm  
(重量) 11.0 t  
(定格出力) 168 kw / 2000 rpm  
(最高速度) 25.0 km/h

**ED11号 八形10**



昭和初期から平成25年まで活躍し、現在宇奈月駅付近のトロッコ広場に展示中(宇奈月駅から徒歩1分)

車両	両
機関車	26
特殊車	2
旅客車	135
貨物車	156
車両総数	319